

平成26年度施策評価調書

整理番号	29
評価担当課	教育部 生涯学習課

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	家庭と地域の教育力の向上		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	7	家庭教育の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	すべての教育の出発点である家庭での教育機能を高めるため、小中学校・幼稚園を単位とした家庭教育学級の機能充実を図り、また、PTAや青少年育成関係団体など地域との連携を進めるなかから学習活動の充実と学習機会の提供に努める。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	① 市内の三つの幼稚園において、園ごとに家庭教育学級を設置し、それぞれが行う事業に対して、年間5万円を上限とした家庭教育学級交付金を制度化して支援を行っている。 ② 家庭教育学級及び同世代の親子を対象とした家庭教育支援講座を行っている。
施策の課題	① 保護者の自主的な学習及び交流を促進するために、参加しやすい学級及び講座の充実に努める。 ② 地域全体が家庭教育について理解し、子育てを温かく見守る環境づくりのために、企業への家庭教育支援の啓発を継続していく。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H23	H24	H25	目標年度(年度)
家庭教育学級事業	家庭教育学級の設置件数	目標値	4	4	3	
		実績値	4	3	3	
		進捗率	100%	75%	100%	
家庭教育支援事業	支援講座の実施回数	目標値	3	3	3	
		実績値	5	2	3	
		進捗率	167%	67%	100%	
家庭教育支援事業	支援講座の参加人数	目標値	200	60	110	
		実績値	194	69	117	
		進捗率	97%	115%	106%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率				
		目標値				
		実績値				
		進捗率				

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	対象としている各幼稚園において、積極的に家庭教育学級が運営されており、交付金制度が活用されている。 支援講座においては、要望も受けながら実施内容を工夫して取り組んでいる。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も、各幼稚園及び担当者と連携を図りながら、取り組みを継続していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H25年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H25決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	家庭教育学級事業	家庭教育学級が行う事業に対して支援を行う。	177	a	b	a	a	a	A	A	A
2	家庭教育支援事業	家庭教育学級及び同世代の親子を対象とした家庭教育支援講座を行う。	15	a	b	a	a	a	A	A	A

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)